



団体紹介・自己紹介

OasisRに参加している団体の紹介です。



認定特定非営利 活動法人UNE

1

認定NPO法人UNEは、16年前から千秋の信濃川河川敷で障がい者や生活困窮者の方々と農作業を通して活動を行ってきました。

2

福祉市民体験農園では利用者みなさんが気持ちよく活動できるよう、圃場をトラクターで耕耘して畑の準備や、共用地の除草作業などの整備、をUNEの利用者の方と共に作業をしています。



認定特定非営利 活動法人UNE

- 年間5回の野菜の植えつけや収穫体験等のイベントを企画、運営しています。
- イベントを通して福祉市民体験農園に集まる様々な立場、業種の方々の交流の場となり、農業の大切さを学ぶ場を提供しています。





社会福祉法人 新潟カリタス会

聖母乳児院・新潟天使園・聖母愛児園





聖母愛児園

- 児童養護施設（聖母愛児園定員36名、新潟天使園定員40名）
 - 児童福祉法第41条
保護者のない児童、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、あわせて退所した者に対する相談その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設とする。
- 乳児院（聖母乳児院定員27名）
 - 児童福祉法第37条
様々な理由で保護を必要とする乳幼児を24時間体制で養育するとともに、退院した者への相談その他の援助を行う
- 放課後児童健全育成事業(見附市委託事業：学童保育)
 - ・ あすなろ児童クラブ（定員）
 - ・ あすなろ第二児童クラブ（定員）
- 地域支援センター
 - ・ 見附地域支援センター(聖母乳児院、聖母愛児園)
 - ・ 地域支援センター「コミッテ」(新潟天使園)

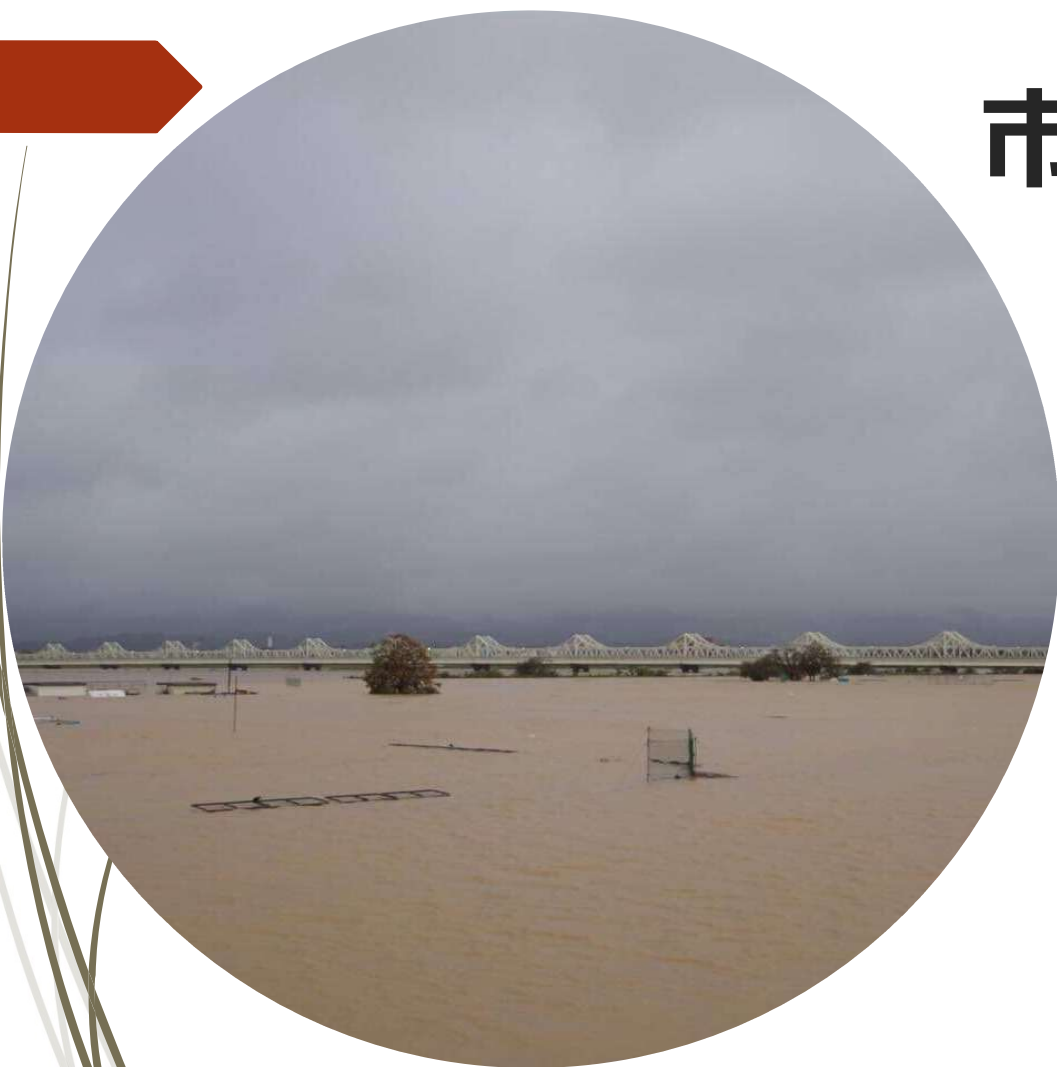


市民協働センター

- ▶ 2019年9月、市民協働センター有志があつまり、Oasis Rをお借りしてきょうどう畑をスタート。
- ▶ はじめは、道具も揃わず見よう見まねで畑を耕すも、耕作放棄地で硬くなった土を耕すだけで精一杯でした。

市民協働センター


- ▶ 2019年10月、まさかの信濃川が洪水となり、畑も水没してしまいました。
- ▶ 初年度は自然の厳しさを思い知らされたスタートでしたが、翌シーズンに向けて俄然やる気がでてきました！





フードバンク ながおか

- 長岡地域においては2014年から「フードバンクにいがた長岡センター」として、多くの市民、企業、団体の皆様に支えられて活動を行ってきました。
- 2021年4月からは、これまでの活動をより地域に密着した活動とするため、「フードバンクながおか」を設立し活動を行っています。

- 
- フードバンクは、まだ安全に食べられるのに、さまざまな理由で企業や家庭で使われなくなった食品を寄贈いただき、食べ物を必要としている福祉施設・団体や個人へとどけることで、食品本来の価値を取り戻し、有効利用されるような循環を生み出す活動です。



連合中越

- 連合は労働組合のナショナルセンターで、中越地域協議会はその地域組織です。
- 連合中越は、長岡市・見附市・小千谷市・魚沼市・南魚沼市・十日町市・出雲崎町・湯沢町・津南町という新潟県中越地域6市3町をエリアとし、雇用と暮らしを守るために活動しています。
- これから賃金引き上げなどを求める春季生活闘争「春闘」が本格化します。
- 写真は労働者の祭典メーデーで長岡地区は毎年5月1日に開催しています。今年も5月1日長岡市立劇場大ホールで開催します。



連合中越

- 連合中越は「農業・食料・環境問題を学ぶ取り組み」として1997年から2015年まで「アジア・アフリカ救援米運動」に参加して田植えや稲刈りなどの農作業を体験し親子で触れあいながら、あわせて「食」・「農業」などについて親子で一緒に考えるきっかけづくりの運動を行ってきました。
- その後、「アジア・アフリカ救援米運動」が終了したことなどから、17年から見附市「そば同好会」の協力を得て「ソバの種まきと蕎麦打ち体験」「ソバの刈り取り」に切り替え21年まで続けてきました。

労働・生活 なんでも相談

一般社団法人新潟県労働者福祉協議会

新潟県ライフサポートセンター

相談無料、秘密厳守

ひとりで悩まず、
お気軽にご相談ください



労働・家庭・法律・心の悩みなど様々な“生活”に関する相談を、弁護士・金融機関・社労士・カウンセラーといった資格を有する方々と提携しながら「解決の糸口を一緒に見つけ出すサポート」を目的とし、2008年2月1日にスタートしました。

※専門的な所での相談は有料となる場合があります

家庭相談

- ・離婚を考えているが決断できない
- ・養育費（婚姻費用）を払ってもらえない
- ・息子（娘）夫婦の仲が悪く孫がかわいそう
- ・子供が引きこもっている

消費生活相談

- ・多重債務があり生活が苦しい
- ・近所とのトラブルで困っている
- ・貸したお金を返してくれない
- ・所持金が無く食べ物が底を尽いた

相続相談

- ・相続で兄妹と揉めている
- ・他界した親の不動産名義を変更したいのだが…
- ・生前贈与について知りたい
- ・遺言書の内容に納得がいかない



ひとりで悩んでいませんか？

〒940-0036 長岡市愛宕3丁目7-24

☎ (0258) 86-8898

受付時間 平日 10:00~16:00



メールでの相談も受付けています

(指定受信設定をされている方は下記アドレスを登録ください)

アドレス nagaoka-lsc@galaxy.ocn.ne.jp

新潟県LSCホームページ

<http://www.nagaoka-lsc.jp/>

新潟県LSC

検索



人間関係・心

- ・職場の人間関係で悩んでいる
- ・コミュニケーションが苦手で話し相手がない
- ・発達障害ではないかと疑っている
- ・生きるのがイヤになった、死にたい…

労働相談

- ・残業代をもらえず有給休暇も無いと言われた
- ・突然明日から会社に来なくていいと言われた
- ・セクハラ、パワハラされた。辞めさせてくれない
- ・労働組合を作りたいがどうすればいいだろうか



悩んでいる問題には様々なことが複雑に絡み合っています。職場での問題がストレスとなり、家族や伴侶とのぶつかりに・・・それが離婚や健康問題につながってまいります。

離婚手続、遺産相続、社会保険・・・もっと知っていれば…

一人で悩むのではなく、一緒に解決方法を考えてみませんか

お知らせ

2021年10月より「ながおかライフサポートセンター」は「新潟県ライフサポートセンター」に組織名が変わりました。相談対応に変更はありませんので引き続きよろしくお願いいたします。

ライフサポートセンター

・新潟県ライフサポートセンターは、2021年10月1日に旧ながおかライフサポートセンターと県内6つのライフサポートセンターを集約しました。

・運営は、新潟県労働者福祉協議会と長岡地区労働者福祉協議会（構成団体は、連合新潟中越地域協議会、労働金庫、こくみん共済coop、中越退職者連合、NPO法人女のスペース・ながおか、NPO法人地域循環ネットワーク、フードバンクながおか）がしています。

・労働相談・金融問題・法律問題・老後相談など、様々な“生活”に関わる相談を受け付けています。

新潟県ライフサポートセンター事業Q&A

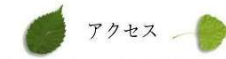
「Life Support Center」の頭文字を取り、通称「新潟県LSC」です

Q.「新潟県ライフサポートセンター」は誰が運営しているの？

A. 働く者の福祉活動を支えている一般社団法人新潟県労働者福祉協議会（県労協）が事業の一つとして運営しています。県労協には働く者の福祉を推進する連合新潟、労働金庫、こくみん共済coop、フードバンク、退職者連合などが参加しています。

Q.どんなシステムで“糸口”は見つかるの？

A. まず、新潟県ライフサポートセンターへ電話下さい。相談内容によって対応は様々です。一緒に解決の“糸口”を見つけましょう。



面談を希望の方は、お電話で予約を取らせてからお越しください（駐車場有り）

新潟県ライフサポートセンター TEL 86-8898

場所 長岡市愛宕3丁目7-24
開所日 毎週月～金曜日（土日祝日は休み）
時間 10:00～16:00



Q. 子供が就労できずに困っているのですが…

A. 15才から49才までの「働きたい！」を応援する長岡地域若者サポートステーション（サポステ）があります。相談支援、就活セミナー、ボランティア活動、コミュニケーショントレーニング、企業内等での職場見学、職場実習を実施し行政やハローワーク等と連携を取りながら、ひとりひとりに適した就職をお手伝いします。また家族からの相談にも応じます。新潟県ライフサポートセンターもしくは下記にご連絡下さい。

●長岡地域若者サポートステーション

受付時間/月～金曜日 10:00～17:00

☎0258-86-7730 Fax0258-86-7731

〒940-0033 長岡市今朝白1-10-12 2F



保存版 新潟県LSC 2021/10版



いつもそばにいていつもそばにいて

ささいなことでささいなことでも

本当に困ったときでも
とことん寄り添う金融機関。

とことん寄り添う金融機関。
お金のこと、将来のこと、

お金のこと、将来のこと、
なんでも気軽に相談してほしい。

なんでも気軽に相談してほしい。
笑顔あふれる未来を

笑顔あふれる未来を
ともに創りたい。

ともに創りたい。
未来と一緒に、

未来と一緒に、
うれし涙を流そう。
うれし涙を流そう。



ろうきんが、いいよ

はたらく仲間がつくった 金融機関だから

いつでも“あなた”の一番そばで応援します！

～ あなたの夢、未来、そして幸せについて本気で考えるのが〈ろうきん〉の使命です～

ご利用者の声

わたしの強い味方です

複数のクレジットカードの返済が苦しくなり、組合に相談したら〈ろうきん〉での借換えを勧められました。手続き時には組合役員が〈ろうきん〉に取り次いでくれたおかげで、その後の手続きも安心してし、生活改④に向けてじっくり相談できたので、とても心強かったです。返済負担も減り、一人でずっと悩んでいましたが思い切って相談して本当によかったです！

労働組合等の皆さん



あなた
(はたらく人とその家族)

- 預金・ローン等のご利用
- 要望・悩み



- 商品・サービス
- 社会貢献活動

提携ATM手数料 実質0円

提携コンビニATMなら
24時間利用可能。土
曜・日曜もOK!
※1



会員だけの 優遇金利

※2

職場で 相談・手続き



生活応援セミナー 開催

- 資産形成
- 多重債務防止
- ライフプラン
etc.



地域への 貢献活動

- 出前授業
- 子ども食堂支援
- フードバンク支援
etc.

皆さまからのご利用で**生まれた利益**や、
はたらく仲間の声（意見・要望）が
〈ろうきん〉の子カラとなり、よりよい商品・サービス、地
域社会の“あんしん”のために役立てられています。

※1 ATMのご利用について
詳しくはこちら



※2 会員だけの優遇金利がある
各種ローンはこちら



原信労働組合 2023中央委員

原信労働組合

- ▶ 原信労働組合は、新潟県、富山県、長野県でスーパーマーケットを展開する株式会社原信の
- ▶ 労働組合で、組合員総数は6,600人以上います。
- ▶ これは昨年の中央委員会の写真で、今年は2月27日開催します。
- ▶ 中央委員会は、総合労働条件闘争要求案を決議する重要な決議機関です。





原信労働組合

- 社会貢献活動として、海岸清掃を実施しています。
- この年は上越、中越、下越の 3 会場で約140kgのごみを回収しました。

OasisRでの活動紹介

OasisRに参加している団体の取り組み紹介です。

2023年のイベント概況と参加内訳

- イベントの概況は今程配布させていただいた2023のイベントチラシをご覧ください。
- イベントの回数は全部で7回参加者の総数は300人でした。
- イベントの様子は冒頭のスライドでご覧いただいたと思いますが、皆さんもまだ記憶に残っているかと思いますが、夏の猛暑で各団体予定していた参加を取り止めた所もあり5月、6月の参加数が減ってしまいましたが、全体を通して、これまでで一番充実した成果を納めることが出来たかと思えます。参加団体の方々のご協力に感謝いたします。

回数	月日	曜日	一般	UNE	計
1	4月22日	土	61	10	71
2	5月27日	土	9	7	16
3	6月10日	土	21	15	36
4	7月22日	土	64	10	74
5	9月2日	土	18	10	28
6	10月28日	日	53	12	65
7	11月3日	金 祝日	6	4	10
計			232	68	300

イベントの日程

- イベントの日程は、集合、ごみ拾い、各団体、共同畑での作業、その後休憩を挟んで、農業や信濃川、そして環境問題についての講和をした後、合同の農作業（ヨモギ作業）、そして最後にみんなと一緒に楽しいお昼の食事イベントをしました。
- 食事終了後は有志による秘密基地の造成、林の整備、そしてストーンアートなど子どもたちを対象とした作業をしました。
- いずれにしても屋外でのイベントですので天候に左右され、暑さ、そして雨を心配しながら、野菜の生長に合せて的確な作業を実施しなければならないことが大変でした。
- 加えて、大勢の方々が集まりますので、それぞれの作業をしっかりと算段し、小グループに分け、みんなが協力し合い、老若男女ひとつの成果を目指して取り組む作業は非常に大切であり、この行動が楽しく、そして有意義なコミュニティを築くものであるということを実感しました。

福祉市民体験農園の目的と効果

1	福祉農園
	障害者のしごと起し、高齢者の生甲斐づくり、生活困窮者の居場所づくりの場
2	リフレッシュ農園
	農園芸を通じてのストレス解消
3	食の農園
	自給自足・安心安全な食べ物生産の場
4	食農育・体験農園
	学校の子どもをはじめ市民が農作業を体験できる場
5	コミュニティ農園
	新たなコミュニティを形成する場
6	ホビー農園
	日常的レジャーとしての生甲斐、余暇を楽しむ
7	都市農村交流農園
	都市住民と農村住民が交流する場
8	環境保全・景観形成農園
	都市中心部の優良な緑地の確保



NIIGATA ROKIN

SDGs
Action

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

新潟ろうきん

22/4



2022.12.12

【地域イベント】福祉市民体験農園「OasisR」でサツマイモ収穫祭を行いました！



2024/02/19 10:32

【地域イベント】福祉市民体験農園「Oasis R」でサツマイモ収穫祭を行いました！ | NIIGATA ROKIN SDGs Action | 新潟...

10月29日(土)、11月3日(木・祝)の2日間、(特非)UNEが運営する福祉市民体験農園「OasisR」にて「サツマイモ収穫祭」を開催し、137名から参加いただき収穫作業に汗を流しました。

・休憩時には焼きたてのサツマイモを食べ、楽しく農作業に参加いただきながら、地域交流の輪を広げることができ、「次のイベントはいつですか?」との声をいただくほど大好評でした。

・4月のジャガイモ植付け・6月のサツマイモ植付け・7月のジャガイモ収穫と今回のサツマイモ収穫といった年間の活動を通して、延 400名もの多くの方からご参加いただきました。

・収穫したサツマイモはフードバンクへ約200kg! 寄贈し、大変お喜びいただきました。

フードバンク ながおか

- ながおか子ども笑顔プロジェクトで支援をしているひとり親世帯の皆さんには必要な支援品を選んでもらう「フードパントリー」方式で農産物等の支援品の配布を行っています。
- 福祉市民体験農園「Oasis R」で収穫された野菜も多く寄贈いただき、必要な方に配布しています。



フードバンク ながおか

- 福祉市民体験農園「OasisR」で行われる、イベントにはながおか子ども笑顔プロジェクトで支援をしているひとり親世帯の皆さんを無料でご招待いただいています。
- 参加された方からは、子どもたちに自然とふれあう機会をいただき、楽しい思い出作ることができましたなど、感謝の言葉をいただいています。



聖母愛児園



・家の代わりである私たちの施設は子どもたちの生活する場所です。衣食住を中心に子どもたちが心身共にすこやかに成長できるように支援していますが、1年を通して余暇活動にも力を入れています。楽しいことはもちろんですが、社会体験を通して社会生活に必要なことを学ぶことも目的の一つとしています。

・いろいろな人たちと交流をすること、また働くことをどのように伝えたらいいのかと思っています。その中でUNEの皆さんの活動に参加できることはとても貴重な社会体験になっています。

サツマイモの苗植え

社会体験「働く」ということ

聖母愛児園



・家の代わりである私たちの施設は子どもたちの生活する場所です。衣食住を中心に子どもたちが心身共にすこやかに成長できるように支援していますが、1年を通して余暇活動にも力を入れています。

・楽しいことはもちろんですが、社会体験を通して社会生活に必要なことを学ぶことも目的の一つとしています。

・いろいろな人たちと交流をすること、また働くことをどのように伝えたいのかと思っています。その中でUNEの皆さんの活動に参加できることはとても貴重な社会体験になっています。

終わった後のお楽しみ

苦あり楽あり



原信労働組合

- ▶ 2020年5月、コロナ感染症防止のため、3密を避けた組合活動を模索する中、社会貢献活動へ繋がる
- ▶ 屋外参加型活動が見込める農園運営に着手しました。
- ▶ UNEさんにトラクターで耕してもらったり、草刈り機で除草をして貰ったりと援助をして頂きました。



原信労働組合

- そのおかげで、7月にはジャガイモ、タマネギが収穫でき、その一部はフードバンク様に寄贈しました。
- また、定期大会等でも組合員に販売し、その収益をフードバンク様に寄付しました。

連合中越



・2022年から「農業・食料・環境問題を学ぶ取り組み」の新たな連携先を模索していたところ、UNEさんからお誘いをいただき福祉市民体験農園「Oasis' R」に参加しています。

・取り組みの前には「農業・食料・環境問題を学ぶ」実行委員会を開催して、計画を立て、組織内に広報して参加者を募っています。

連合中越



・開園式(じゃがいもの作付:4月22日 土曜日)

じゃがいも3畝(35M×3)秋に植えた玉ねぎの管理

・サツマイモの作付け(6月10日 土曜日)

サツマイモ2畝(35M×2)秋に植えた玉ねぎの管理(後日収穫)

寄贈先 フードバンクながおか、子ども食堂(高町、四郎丸、与板)

・夏野菜収穫(7月22日 土曜日)

じゃがいも3畝(35M×3)収穫

寄贈先:フードバンクながおか、子ども食堂(高町、四郎丸)

・サツマイモの収穫と玉ねぎの作付(10月28日土曜日)

寄贈先 新町みんな食堂

この取り組みによって「農業・食料・環境問題を学ぶ」共に
職場、組合を超えた交流も行うことができました。

市民協働 センター

- ▶ きょうどう畑は、やりたい人がやりたい時にやりたいことをする。そんな緩やかな畑LIFEを楽しむ仲間が集まっています。



市民協働 センター



- 自分が植えたい野菜を育てるもあり。みんなで一緒に植え付けから収穫まで楽しむこともあり。
- 引っ越しや子育てなどライフスタイルの変化によってメンバーも変わっていますが、それも問題ありません。
- なんでもありな自由な場所です。



認定特定非営利 活動法人UNE

・イベントでは、畑で農作業を行い農業の大変さ、大切さを学びます。遊休農地を利用した、ヨモギの栽培、収穫を通して農福連携を学びました。

・そしてがんばって汗をかいたあとは、UNEの料理長特性のおいしい食事をみんなで一緒に食べました。





認定特定非営利 活動法人UNE

- ・秋の収穫のイベントでは、聖母愛児園の皆さんと協力して大きなハロウィンカボチャの収穫をしました。
- ・20kgを超える大きなものもありましたが、グループを作り、大きな布を使い、知恵と力を出し合って200個ものカボチャを運びました。